

製品番号	QT-BDL1	QT-ADL1	QT-ADL1-35
性能仕様			
入力電源	DC24V±5%以内、電流容量2.5A以上、許容リップル電圧200mV _{p-p} 以下でサージ等が無いこと(これらの条件が全て満たされないと破損する可能性があります)	DC24V±10%以内、電流容量2.5A以上、許容リップル電圧400mV _{p-p} 以下でサージ等が無いこと(これらの条件が全て満たされないと破損する可能性があります)	
周囲温度/湿度	10~40°C/20~80% (非結露)	←	
外形寸法	W165×D142×H60mm		W165×D140×H60mm
質量	1.6kg	←	
制御軸数	1軸(低振動ステップドライバ内蔵)		1軸(ドライバ内蔵)
制御機能	QT-AK1による手動操作、通信(RS-232C)によるリモート制御	←	
1回の最大パルス出力	16,777.215/パルス	←	
座標表示範囲	+99,999.999~-99,999.999	←	
駆動周波数	10~50,000pps (設定周波数ピッチ10pps)	←	
加減速時間	1~200ms(台形駆動時)/1~400ms(S字駆動時)		1~1,000ms
原点復帰方式	8種類	←	
外部入出力	汎用入力4点、汎用出力4点、プログラムCH選択入力4点、プログラム開始入力、駆動パルス出力、移動/停止出力(汎用入力とプログラムCH選択入力のいずれかを選択、同時使用不可、また、汎用出力と駆動パルス出力および移動/停止出力のいずれかを選択、同時使用不可)	←	
スケール入力	-	←	
オーバーラン防止	CW/CCWハードリミット、CW/CCWソフトリミット、原点復帰範囲	←	
通信機能	RS-232C	←	
制御コマンド	QTシリーズ、QT-Aシリーズ		QTシリーズ、MSシリーズ上位互換
プログラム機能	標準添付専用アプリケーションソフト(QT-EDIT)によるプログラムの書き込み、吸い出し、実行機能、操作ボックス(QT-AK)による簡易テーティング機能	←	
バックアップ	フラッシュROMIによるバックアップ	←	
その他の機能	S字駆動、通信回線チェック機能(QT-AKが必要)、当社製自動ステージの選択機能、内蔵ドライバOFF機能	←	
制御方式	5相ペンタゴン結線バイポーラ定電流マイクロステップ方式(スムーズドライブ機能搭載)		5相ペンタゴン結線バイポーラ定電流方式
駆動電流	1.2A/相、0.75A/相、0.35A/相 (内蔵ドライバ上のスイッチによる変更)	0.75A/相	0.35A/相
ステップ角	1/1(フルステップ)、1/2(ハーフステップ)の2種類 (移動中の切替不可)	←	
パワーダウン機能	停止時にモータ相電流を自動低減(パワーダウン機能)		停止時50%に自動パワーダウン
励磁解除機能	あり(ただし、励磁解除を指定した軸は、電磁ブレーキの解放操作ができません)	←	
適合規格	EMission EMI EN 55011, FCC-B イミュニティ EMS EN 61000-4-2,-3,-4,-6,-8 低電圧 LVD 対象外	-	-
RoHS指令対応状況	規制10物質不含有品	←	
その他			
コネクタ	D-sub15ピン メス	D-sub15ピン メス	D-sub15ピン オス
中央精機製自動ステージの選択機能	あり	←	
モータ駆動電流自動設定機能	なし	←	
S字駆動	あり	←	
2軸独立制御	なし	←	
2軸間直線補間	なし	←	
2軸間円弧補間	なし	←	
通信回線チェック機能(QT-AK/QT-AK3が必要)	あり	←	
内蔵ドライバOFF機能	あり	←	
QT-AK	対応	←	
QT-AK3	非対応	←	
QT-AJ	非対応	←	
QT-AT	非対応	←	
QT-BK	対応	対応	非対応
QT-AES	対応	←	
通信コマンド間ウェイト時間	30ms以上		20ms以上